

9月議会定例会

一般質問

市政に対する質問・提言

9月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。

〔問〕制度発足五年を経過しての「土岐市」としての評価？

〔答〕（市長）福祉サービスを受けることを「権利」としての認識となりつつあることは評価すべきこと。きわめて速い施設・在宅を含めてのサービス対応で「介護」が社会化され、家庭の過重負担が軽減された。しかし急速整備の結果微妙なひずみが出てきたことも事実。今回見直しにあたりアンケート調査と共に第二期同事業の分析等を進めている。

〔問〕介護保険法等の一部改正でなにが変わったか？

〔答〕（市民部長）大きくは六項目あるが市民影響のすぐあるものとして十月からスタートする「施設給付の見直し」があり施設入所者の居住費や食



特別養護老人ホーム とき陶生苑

費を給付から外し自己負担となる。しかしこれは在宅介護等との負担の不均衡を是正することや持続可能な制度のためと考える。

〔問〕生存権をおびやかす様な制度改正は社会保障の精神と矛盾する。独自の減免制度や国への働きかけを求める。

〔答〕（市長）給付費が年々上がっているが保険料は六年間すえおいている。今後の方針は策定委員会で検討中。独自の減免制度は考えていないが市長会としての活動は継続する。

〔問〕合併協議の過程で明らかになり話題となった「土岐市のごみ袋と保育料の安さ」は、それを享受してきた市民が、土岐市民としての誇りと安心感をあらためて抱いた優れた施策だったといえる。

しかし行政改革の今年度実施項目として、これら使用料・手数料等が見直し対象となっていると聞く。真の子育て支援などの観点からも、財政健全化への視点は、組織機構や事務事業の見直し等こそに向けられることが原則と思うが如何か？

〔答〕（市長）合併白紙化により以前にも増して厳しい財政運営を強いられることを予想して「第3次行財政改革」を定め短期集中的取り組んでいる。



検討が整ったところから順次実施し、これまで職員定数の削減や市税の徴収率の向上、前納報奨金の率の引き上げなど行い効果を上げてきた。使用料、手数料など市民の支出に関わる見直しは市民理解が必須である。困難ではあるが避けては通れないところまできており、受益者に応分の負担を求めることを原則に近隣市と比べ低い料金を見直す方針である。今後標準以下に抑制することを原則としながら市民各位のご理解をいただく中で検討をして参りたい。



土岐市役所内集積場所

第五次総合計画には、玉虫色の言葉はさけ、実現可能な計画だけを表記すべきでは。定林寺・鶴里のフェロシルト撤去問題について。



小栗 恒雄

問 第四次総合計画の中に、「工場適地の計画的な配置により、適切な導入を図っていく」と記述してあるが、この十年間、地場産業の多くの工場が姿を消していく中、新たな企業の工場進出は、ほとんどありませんでした。地場産業に従事する多くの市民は経済的に苦しい思いをしています。第五次総合計画には、玉虫色の言葉は避け実現可能な計画だけを表記すべきではないか。

答 (市長) 玉虫色の言葉は表記すべきではないとのことですが、これは向こう十年間の構想・計画であり、街づくりの理念や将来都市像について夢のある計画を立てるうえ、時には玉虫色になることもあろうかと存じますが、基本計

画・実施計画と進んでいく段階で、より現実的、具体的な実施計画に仕上げ実行し、玉虫色はより鮮明な色に変わっていくということであります。

問 フェロシルト撤去計画と撤去後の跡地処理について。

答 石原産業の撤去計画によりまずと、撤去開始は定林寺は八月下旬、鶴里は九月からであり、どちらも年内完了となっております。両地の撤去後は適正な跡地処理がなされるよう県と連携して指導監視体制を強めていきたい。



第五次土岐市総合計画素案

食品の安全性について
土岐市立総合病院の医療設備について



森 信行

問 店頭に並ぶ野菜が最近特に美しいのに気がついておられる方があると思いますが、あれ程美しい野菜を育てる事は大変難しく多くの農薬が使用されているのではないかと心配をしておりますが、残留農薬について、どのような検査がされているのか、年間何処で、誰が、またその回数などをお教えください。

答 残留農薬については生産者の自主検査もありますが、流通過程での抜き打ち検査は、県下の保健所を通じて保健環境研究所で実施されておりあります。

市内の朝市については、毎年八月一日に東濃地域土岐農業改良普及センターで検査を行っております。

問 土岐市立総合病院に導入さ



マルチスライスCT

れたマルチスライスCTとはどのようなものか。また、ガンマナイフとは。

答 診療用としては全国で最初の導入であり、専用器械を使って見たい臓器だけを取り出して見ることができ、撮影時間が従来ものとは比べて極めて早く撮影ができる。ガンマナイフは頭部専用の装置であり、実用性が極めて限られた割には単価が高いものです。当病院はガンマナイフに相当するライナックの治療法を行っている。

問 ゆきとどいた教育に30人学級の実施を求める声が寄せられている。中教審が今秋までに検討する総合学習の成果と問題点は。

教育の充実について
アスベストの危険性と対策について
フィルムコミッションの登録について
第五次総合計画の策定について



おぜき 祥子

答 総合的な学習の時間は、生きる力を確実に身につける学校教育にとつて最も大切な機会の一つ。特色ある学校づくりの場として位置づけている。よりねらいを明確にした授業づくり、体験的な活動の内容をさらに充実、質的な改善を図っていくこと。

問 アスベストの健康被害の調査、検査、処理費用の助成など、国や県、市の対応は。

答 教育委員会については、目視による調査は済み、撤去工事の完成または検査機関に調査依頼を実施。処理費用の助成については、国・県の動向



肥田小学校図書館にて

を見極めながら検討していきたい。

④映画やテレビのロケ地を提供することによって、撮影スタッフの宿泊、食事等地域経済に大きな効果があるファイルムコミッションの登録は。

⑤県単位ぐらいの広域で考えるべきものであり、市単独で登録する考えはない。

⑥第五次総合計画策定に市民の声の反映は。

⑦市民の意向や財政状況を考慮しながら実施計画で詰めていきたい。



住民基本台帳の閲覧の制限について
団塊の世代の大量退職者の市の取り組みについて

高井由美子

⑧住民基本台帳法の閲覧を悪用した事件が発生しました。総務省は、住民基本台帳の閲覧について実態調査を行いました。閲覧請求は、ダイレク

トメール業者など営業目的の62%と発表しております。プライバシー保護意識の高まりの中、閲覧を原則非公開に転換することで、近く法案改正案が提出されます。

土岐市においても住民基本台帳の閲覧の制限を強化する必要があると考えられますが、

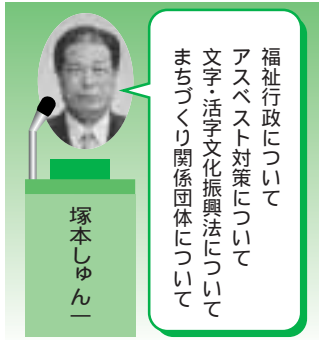
⑨現在、住民基本台帳法第11条により原則公開として、国において閲覧制度の見直しを検討され来年法改正が予定されており、国に従って対応していきたい。

⑩昭和22年から24年の3年間に生まれた団塊世代が60歳に

達し、2年後から定年を迎え、大量退職が始まります。

行政調査会は「団塊世代のリタイヤをならんだ施策調査」のアンケート調査を実施し、8割の自治体が大量退職者を意識して行政をしています。土岐市の取り組みを伺います。

⑪土岐市の就業者総数の13%強を団塊世代が占めます。高齢者・子育て支援・環境保全・商店街活性化など、今後の街づくり、経験と知識を生かせる支援、方法の検討が必要と考えている。



福祉行政について
アスベスト対策について
文字・活字文化振興法について
まちづくり関係団体について

塚本しんじ

⑫「耳マーク」表示を市役所や公共施設の窓口に設置してはどうか。

⑬土岐市では、聴覚障害者の方が228人おられます。まず試験的に本庁の福祉関係の窓口に表示板の設置を考えた

いと思っています。

⑭「ハート・プラス」表示板を公共施設に設置してはどうか。

⑮内部障害者は、989人で障害者全体の3分の1となっております。プライバシーに関係することでもあり、国及び県の動向を視野に入れ、検討課題とさせていただきます。

⑯アスベストに関する健康被害や相談窓口設置について。

⑰9月20日までに、目視での公共施設アスベスト使用調査をまとめます。相談窓口は、生活環境課が受けます。

⑱教育現場での取り組みは。

⑲小学校・中学校とも児童、生徒が主体的に良書に触れる



耳のシンボルマーク

ことができることを願って、

図書館の利用指導や読書指導を年間の計画に基づいて行っており、例えば朝の読書活動として実施している学校もあります。

⑳まちづくり関係団体への支援について。

㉑今後、NPOやボランティア団体等についても補助対象にすべきを検討していく。

一般質問の順序により、掲載いたしました。

なお、ここに掲載されている記事につきましては、決められたスペースに、質問及び答弁を、各議員が責任を持って書いており、それぞれが創意工夫を凝らしてまとめています。そのため、文体等を統一していませんので、ご了承ください。

ご意見、ご感想をお寄せください。

「市議会だより」では議会の活動をわかりやすくお伝えするよう努めております。ご意見・ご感想をお寄せください。

〒509-5192

土岐市土岐津町土岐口2101番地
土岐市議会内議会だより編集委員会

電話 0572-54-1111 FAX 0572-54-8971

Eメール: gikai@city.toki.lg.jp